COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

企業調査レポート

泉州電業

9824 東証1部

企業情報はこちら >>>

2021年1月8日(金)

執筆:客員アナリスト **寺島 昇**

FISCO Ltd. Analyst Noboru Terashima





2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/ 9824 東証 1 部

■目次

| ■要約──── | (|
|-------------------------------------------------------------------|---|
| 1. 2020 年 10 月期の連結業績(実績) | (|
| 2. 2021 年 10 月期の連結業績(予想) | (|
| 3. 中期経営計画:最終年度(目標期)を 2024 年 10 月期に変更 | (|
| 4. 株主還元、資本効率改善にも前向き | (|
| ■会社概要 | (|
| 1. 会社概要 | (|
| 2. 沿革 | (|
| 3. 事業內容 | (|
| ■業績動向 | (|
| 1. 2020 年 10 月期の連結業績 | (|
| 2. 2020 年 10 月期の商品別概況(単体ベース) | (|
| ■今後の見通し―――――――――――――――――――――――――――――――――――― | |
| 1. 2021 年 10 月期の連結業績見通し | |
| 2. 商品別の売上高見通し(単体ベース) | |
| ■中長期の成長戦略 | |
| 1. 中期経営計画:目標年度を 2024 年 10 月期へ変更 | |
| 2. 中期経営計画:「SS2024」達成に向けての重要施策···································· | |
| 3. 中期経営計画:設備投資計画と専用サイトの立ち上げ | |
| 4. ESG と SDGs への取り組み | |
| 5. 同社設立記念日の 11 月 18 日が「電線の日」に制定 | |
| ■株主還元策 | |



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

■要約

独立系電線商社の大手。堅実経営で着実な成長続く。 財務内容は堅固で株主還元にも前向き

泉州電業 <9824> は、独立系では国内トップの電線の総合専門商社である。仕入先は約 250 社、在庫商品アイテム数は約 5 万点に上り、「必要な商品を、必要な分だけ、必要なときに届ける」というデリバリー体制が強みである。自社開発のオリジナル商品で差別化を図っている。

1.2020年10月期の連結業績(実績)

2020年10月期の連結業績は、売上高74,288百万円(前期比11.2%減)、営業利益3,124百万円(同21.5%減)、経常利益3,382百万円(同19.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2,351百万円(同13.4%減)となった。減収の要因は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の影響で主な向け先である工作機械業界等での生産が停滞し、建設・建築・住宅市場で工事の進捗が滞ったことに加え、期中の平均銅価格が前期比で3.7%下落したことによる。銅価格の低下などで売上総利益率は前期の15.8%から16.3%へ上昇したが、減収により売上総利益は12,078百万円(同8.7%減)となった。コロナの影響に伴う経費減により販管費は前期比3.1%減となったが、売上総利益の減少を補えずに営業利益は同21.5%減となった。

2. 2021 年 10 月期の連結業績(予想)

2021 年 10 月期通期の連結業績は、売上高で前期比 10.5% 増の 82,100 百万円、営業利益で同 5.6% 増の 3,300 百万円、経常利益で同 5.0% 増の 3,550 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で同 2.1% 増の 2,400 百万円と予想されている。期中の平均銅価格は 720 千円 / トン(前期比 5.9% 増)を予想している。通期では増益予想だが、前期の第 1 四半期(2019 年 11 月 - 2020 年 1 月)はコロナの影響が少なかったのに対して、2021年 10 月期の第 1 四半期はコロナの影響が残ると予想されることから、上期は営業減益が見込まれている。コロナの影響も含めて厳しい環境が続く予想だが、下期には半導体製造装置向けに加えて中国での工作機械向けなどや建設関連の需要も回復すると見ており、通期ではこの目標を達成する計画だ。

3. 中期経営計画:最終年度(目標期)を 2024 年 10 月期に変更

同社は、2021年10月期を最終年度とする中期経営計画(数値目標:売上高1,000億円、経常利益50億円、ROE6.0%以上)を発表していたが、足元ではコロナの影響で業界環境も大きく変わっていることから、この目標を3年後ずれさせて、2024年10月期に売上高1,000億円、経常利益50億円、ROE8.0%以上を目指すことに変更した。ただし、今後のコロナの収束次第で業界環境が好転する可能性もあり、この目標値と達成時期はその都度見直される予定だ。一方で、定性的な各種施策については粛々と進めていく方針となっている。



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

要約

4. 株主還元、資本効率改善にも前向き

同社の財務体質は良好であり、加えて「今後は資本効率を改善し、まずは ROE8.0% 以上を目指す」と述べている。 実現のための具体策として、年間配当を 2016 年 10 月期の 40 円から、2017 年 10 月期 45 円、2018 年 10 月 期 55 円、2019 年 10 月期には 70 円(内、記念配当 10 円)、2020 年 10 月期には普通配当だけで年間 70 円 の配当を行った。さら進行中の 2021 年 10 月期には年間 80 円配当(中間 40 円、期末 40 円)を行うことを発 表済みだ。

加えて同社は、自社株買いも積極的に行っている。2016年10月期に271,700株、2018年10月期に150,000株、2019年10月期に300,000株、さらに2020年10月期も315,700株の自社株買いを行った。進行中の2021年10月期も、上期中に最大170,000株(上限500百万円)の自社株買いを行うことを発表している。この結果、総還元性向は2020年10月期に70.7%となったが、2021年10月期も51.5%になる見込みだ。このような株主還元、資本効率の向上に向けた同社の姿勢は大いに評価されるべきだろう。

Key Points

- ・独立系では最大手の総合電線商社。オリジナル商品で差別化を図る
- ・2020 年 10 月期はコロナの影響等で前期比 21.5% の営業減益だが、2021 年 10 月期は同 5.6% の増益予想
- ・中期経営計画はコロナで後ずれ、2024年10月期に経常利益50億円を目指す

売上高と営業利益の推移(連結)



出所:決算短信よりフィスコ作成



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

■会社概要

独立系では最大手の総合電線商社。オリジナル商品で差別化を図る

1. 会社概要

同社は電線の総合専門商社で、独立系では最大手である。その歴史は古く、創業は 1947 年に遡る。仕入先は約250 社となっており、大手は言うに及ばず、国内の電線メーカーの半分以上と取引がある。在庫商品アイテム数は約5万点と、国内における商品の調達力は抜きん出ている。

2. 沿革

同社の歴史は古く、1947年に西村電気商会として創業された後、全国及びアジア諸国へと、業容を拡大してきた。 2020年10月末時点のグループ全体での従業員数712名、国内連結子会社5社、海外連結子会社5社(タイ1社、中国1社、台湾1社、フィリピン1社、ベトナム1社)、国内拠点17ヶ所を擁する。

株式については、1991 年 6 月に大阪証券取引所市場第 2 部へ上場した。その後 2002 年 11 月に東京証券取引 所市場第 2 部へ上場し、さらに 2017 年 11 月には同市場第 1 部へ指定替えとなった。



2021年1月8日(金)

9824 東証 1 部

https://www.senden.co.jp/financer/press/

会社概要

沿革

| | 18 7 |
|----------|---------------------------------------------|
| 1947年 1月 | 大阪市北区堂山町 15 番地に西村電気商会創業 |
| 1949年11月 | 会社設立、資本金 30 万円にて発足 |
| 1962年 6月 | 本社社屋(泉州ビル)を大阪市北区兎我野町 2-4 に新築移転 |
| 1982年 4月 | 大阪国際見本市メカトロニクス・ロボットショーに出展 |
| 1991年 6月 | 大阪証券取引所市場第2部(特別指定銘柄)に上場、資本金2,104百万円に増資 |
| 1992年11月 | (株)エステックを設立 |
| 1996年 1月 | 大阪証券取引所第2部銘柄(コード9824)に指定 |
| 1996年 6月 | ヤスヰ電業(株)を完全子会社化 |
| 2002年11月 | 東京証券取引所市場第2部に上場 |
| 2004年 4月 | 上海泉秀国際貿易有限公司を設立 |
| 2005年 2月 | いすゞ電業(株)を完全子会社化 |
| 2010年11月 | 三光商事(株)を完全子会社化 |
| 2011年 5月 | 上海泉秀国際貿易有限公司 天津分公司を開所 |
| 2013年 5月 | エヌビーエス(株)を完全子会社化 |
| 2013年11月 | いすゞ電業(株)がヤスヰ電業を吸収合併 |
| 2014年10月 | SENSHU ELECTRIC PHILLIPINES CORPORATION を設立 |
| 2015年 3月 | アシ電機(株)を完全子会社化 |
| 2015年 6月 | 太洋通信工業(株)を完全子会社化 |
| 2016年 1月 | 台湾泉秀有限公司を設立 |
| 2016年 3月 | 本社を大阪府吹田市南金田 1-4-21 へ移転 |
| 2017年11月 | 東京証券取引所市場第1部銘柄に指定 |
| 2019年 5月 | 吹田物流センターを移転・改称し、大阪府豊中市に大阪物流センターを開設 |
| 2019年10月 | SENSHU ELECTRIC VIETNAM CO.,LTD. を設立 |
| 2020年 8月 | いすゞ電業(株)を吸収合併 |
| | <u> </u> |

出所:会社ホームページよりフィスコ作成

3. 事業内容

(1) 仕入先と販売体制

同社は電線の総合専門商社で、独立系では最大手である。仕入先は約250社となっており、国内の電線メーカーが中小企業を含めて約400社ある中で、同社は半分以上のメーカーから仕入れていることになる。在庫商品アイテム数で約5万点と、国内における商品の調達力は抜きん出ている。主な仕入先は昭和電線ホールディングス<5805>、住電日立ケーブル(株)となっている。

販売体制については、国内で支店・営業所合わせて 17ヶ所を有し、各支店・営業所に物流センターを併設し、営業社員 200 名体制で全国展開している。また、加工品の工場(外注工場を含む)を納入先の近隣に設けるなど、「必要な商品を、必要な分だけ、必要なときに届ける」というジャスト・イン・タイムのデリバリー体制及び在庫管理能力を強みとしている。在庫水準に関しては「0.8ヶ月以内」と厳しい社内規定を設けて、銅相場の変動に対応できるよう適正在庫水準を常に維持している。顧客は電材販売業者及びメーカー、電気工事会社など約 3,500 社に上り、最大の顧客先の売上構成比は約 3%、上位 10 社合計でも約 15% 程度と、特定の顧客に対する依存度が低く、幅広い顧客と取引を行っているのが特徴である。

(2) 商品別構成比

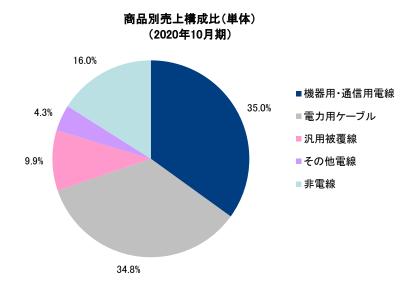


2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

会社概要

同社の商品別の売上構成比 (2020 年 10 月期、単体ベース) は、機器用・通信用電線が 35.0% と最も大きく、 次いで電力用ケーブル 34.8%、汎用被覆線 9.9%、その他電線 4.3%、非電線 16.0% となっている。



出所:決算参考資料よりフィスコ作成

同社の商品別構成比を業界全体の構成比と比較すると、機器用・通信用電線及び電力用ケーブルの比率が高い。これは業界合計では比率の高い輸送用電線(主に自動車用ワイヤーハーネス)を同社では手掛けていないことによる。輸送用電線を除いた業界合計の構成比は機器用・通信用電線で約20%、電力用ケーブルで約33%となっており、電力用ケーブルは同社とほぼ同じ数値となっている一方、機器用・通信用電線は同社の構成比が高くなっており、この点が同社の特徴と言える。

(3) 業界シェア

(一社)日本電線工業会の統計データから同社の業界シェアを推計すると、電線総出荷額ベースでは 4% 程度と推計されるが、同社の関わる需要部門である「建設・電販部門」だけで見ると約 14%(同社推定)になる。また、商品別で見れば、同社の収益源となる機器用・通信用電線のシェア(同社未公表のため弊社試算)は約 14% となっている。同業はメーカー系の商社が多く、上場企業は同社のみとなっている。

電線業界では現状、電力ケーブル分野における価格競争が続いており、同分野を手掛けている独立系商社にとっては厳しい状況が続いている。経営体力がなく、差別化できる商材を持っていない電線商社は、大手メーカー系商社の傘下に吸収・統合されるといった傾向が続いているようである。



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

会社概要

(4) 特色、強み

前述のように同社は多くの種類の機器用・通信用電線を手掛けているが、なかでも自動車業界及びエレクトロニクス業界における工場の生産ラインで用いられる電線を主力としており、これは同社の特色だろう。それらは FA 機器及び工作機械をつなぐケーブル、これら機器内に組み込まれる電線などである。このため同社の業績は、国内における自動車・エレクトロニクス業界を中心とした製造業の設備投資動向と相関性が高くなっている。

また同社は、この機器用・通信用電線において他社との差別化を図っている。具体的には、営業が集めてきた顧客ニーズをもとにオリジナル商品を独自で、またはメーカーと共同で開発し、単なる仕入販売商社ではない付加価値商品の販売を行っている。前述のとおり、同社は加工品の拠点を顧客の近隣に展開しているが、このロケーション戦略によって顧客との接触を密にし、新製品及び生産ラインの設計段階からの情報を入手して商品開発に生かしている。こうしたオリジナル商品の特徴は、「耐久性、耐環境性(温度変化、防油、防水等)、ノイズ対策」など、顧客の多様なニーズに応えられる点である。一方でオリジナル商品に関しては在庫リスクを同社が抱えるため、粗利益率も高く設定されている。機器用・通信用電線の中でこうしたオリジナル商品の売上構成比は約3分の1程度を占めており、これも同社の特色であり強みと言えるだろう。

こうしたなかで、同社はオリジナル商品の開発で顧客との強い関係を築き上げているほか、多品種少量受注にも対応できるデリバリー体制を構築していること、及び商品ラインナップにおいて中小メーカーの特殊ケーブルなどもそろえることができるといったメーカー系列にはない強みを持っていることなどにより、今後も独立系商社のトップ企業として成長を続けていくことは十分に可能であると弊社では見ている。

(5) 銅価格の影響

同社の業績に影響を与える大きな要素として「銅価格」が挙げられる。同社が扱っている電線類の主原材料は 銅であるため、電線価格(仕入・販売)は国際商品市場での銅価格にスライドする。そのため、銅価格の動き によって売上高は大きく変動するが、仕入価格も販売価格と同様に変動していくためマージンは変わらない。 ただし、同社は在庫評価方法に「移動平均法」を採用していることから、銅価格が上昇する局面ではそれまで の低い原価が計上されるため利益が先に出る傾向があり、反対に下降局面ではそれまでの高い原価が計上されるため利益が少なくなる傾向がある。長期的に見ればこれらは平均化されるので、銅価格の利益への影響は微 少であると言える。

一方で販売価格に関しては、銅価格の影響だけでなく競争による影響もある。特に電力用ケーブルにおいてその傾向が強く、電力用ケーブルの粗利益率は同社商品の中でも低い水準である。ただし、電力用ケーブルに関しては顧客となる電材販売業者約1,100社が扱っており、品ぞろえとして欠かせない商品であることも事実である。また、もう1つの柱である機器用・通信用電線は設備投資動向への依存度が大きく、好不調の波が激しいこともあって、経営の安定性(リスク分散)という意味でも電力用ケーブルは同社にとって不可欠の商材となっている。



2021年1月8日(金)

9824 東証 1 部

https://www.senden.co.jp/financer/press/

会社概要





出所:決算短信よりフィスコ作成

■業績動向

2020 年 10 月期はコロナの影響等で前期比 21.5% の営業減益。 手元の現金及び預金は 184 億円と潤沢

1. 2020 年 10 月期の連結業績

(1) 損益状況

2020年10月期の連結業績は、売上高74,288百万円(前期比11.2%減)、営業利益3,124百万円(同21.5%減)、 経常利益3,382百万円(同19.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2,351百万円(同13.4%減)となった。

減収の要因は、コロナの影響で主な向け先である工作機械業界等での生産が停滞し、建設・建築・住宅市場で工事の進捗が滞ったことに加え、期中の平均銅価格が前期比で 3.7% 下落したことによる。銅価格の低下などで売上総利益率は前期の 15.8% から 16.3% ヘ上昇したが、減収により売上総利益は 12,078 百万円(前期比8.7% 減)となった。コロナの影響に伴う経費減により販管費は同 3.1% 減となったが、売上総利益の減少を補えずに営業利益は同 21.5% 減となった。

http://www.fisco.co.jp

泉州電業 9824 東証 1 部

2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

業績動向

2020年10月期の連結業績

(単位:百万円、%)

| | 19/10 期 | | 20/10 期 | | | |
|---------------------|---------|-------|---------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 83,676 | 100.0 | 74,288 | 100.0 | -9,388 | -11.2 |
| 売上総利益 | 13,222 | 15.8 | 12,078 | 16.3 | -1,144 | -8.7 |
| 販管費 | 9,243 | 11.0 | 8,953 | 12.1 | -289 | -3.1 |
| 営業利益 | 3,979 | 4.8 | 3,124 | 4.2 | -855 | -21.5 |
| 経常利益 | 4,206 | 5.0 | 3,382 | 4.6 | -824 | -19.6 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,714 | 3.2 | 2,351 | 3.2 | -362 | -13.4 |

出所:決算短信よりフィスコ作成

期間中の設備投資額は 223 百万円 (前期 1,363 百万円)、減価償却費は 588 百万円 (同 543 百万円) であった。 投資の主な内訳は、旧埼玉営業所隣地取得 55 百万円、STEC ビル改修工事 36 百万円等である。

(2) 財務状況

2020年10月期末の資産合計は前期末比1,187百万円減の67,401百万円となった。流動資産は同847百万円減の43,664百万円となったが、主に現金及び預金の増加2,489百万円、受取手形及び売掛金の減少1,796百万円、商品の減少281百万円などによる。固定資産は同340百万円減の23,737百万円となったが、主に減価償却費増や除却による有形固定資産の減少277百万円などによる。

負債合計が前期末比 1,848 百万円減の 26,991 百万円となった。流動負債は同 1,787 百万円減の 24,262 百万円となったが、主に支払手形及び買掛金の減少 1,679 百万円による。固定負債は同 61 百万円減の 2,728 百万円となったが、主に退職給付に係る負債の増加 156 百万円などによる。純資産合計は、主に利益剰余金の増加 1,679 百万円などにより、同 660 百万円増の 40,409 百万円となった。



2021年1月8日(金)

9824 東証 1 部

https://www.senden.co.jp/financer/press/

業績動向

要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | | | () — — — , 3 , 3 , |
|-----------|----------|----------|---------------------|
| | 19/10 期末 | 20/10 期末 | 増減額 |
| 現金及び預金 | 15,972 | 18,461 | 2,489 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,070 | 16,273 | -1,796 |
| 商品 | 4,128 | 3,847 | -281 |
| 流動資産計 | 44,512 | 43,664 | -847 |
| 有形固定資産 | 18,052 | 17,774 | -277 |
| 無形固定資産 | 175 | 120 | -54 |
| 投資その他の資産 | 5,849 | 5,842 | -7 |
| 固定資産計 | 24,077 | 23,737 | -340 |
| 資産合計 | 68,589 | 67,401 | -1,187 |
| 支払手形及び買掛金 | 23,537 | 21,858 | -1,679 |
| 短期借入金 | 105 | 105 | - |
| 未払法人税等 | 736 | 462 | -274 |
| 流動負債計 | 26,049 | 24,262 | -1,787 |
| 退職給付に係る負債 | 1,946 | 2,103 | 156 |
| 固定負債計 | 2,790 | 2,728 | -61 |
| 負債合計 | 28,840 | 26,991 | -1,848 |
| 純資産合計 | 39,749 | 40,409 | 660 |
| 負債・純資産合計 | 68,589 | 67,401 | -1,187 |
| | | | |

出所:決算短信よりフィスコ作成

2. 2020 年 10 月期の商品別概況(単体ベース)

2020年10月期の商品別売上高(単体ベース)

(単位:百万円、%)

| | 19/10 期 | | 20/10 期 | | | | |
|-----------|---------|-------|---------|-------|--------|-------|--|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | |
| 機器用・通信用電線 | 27,922 | 35.5 | 24,299 | 35.0 | -3,622 | -13.0 | |
| 電力用ケーブル | 26,671 | 33.9 | 24,173 | 34.8 | -2,497 | -9.4 | |
| 汎用被覆線 | 7,606 | 9.7 | 6,906 | 9.9 | -699 | -9.2 | |
| その他電線 | 3,729 | 4.7 | 2,987 | 4.3 | -741 | -19.9 | |
| 非電線 | 12,821 | 16.2 | 11,140 | 16.0 | -1,681 | -13.1 | |
| 合計 | 78,750 | 100.0 | 69,507 | 100.0 | -9,243 | -11.7 | |

出所:決算参考資料よりフィスコ作成

商品別の状況(単体ベース)は以下のとおりであった。

(1)機器用・通信用電線

取扱商品の中では比較的付加価値が高く、銅価格の変動の影響が少ない商品である。売上高は 24,299 百万円 (前期比13.0%減)となった。半導体製造装置関連など堅調に推移したものもあったが、米中貿易摩擦やコロ ナの影響を受け工作機械向けや自動車関連向けが低調に推移した。比較的銅価格の影響は少ないが、数量ベー スでも前期比で減少となった。



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

業績動向

(2) 電力用ケーブル

主に建設用(ビル、工場、病院及び学校等の大型施設など)に使われる電線であるが、競争も激しく利益率は低い。オリンピック関連施設の竣工などもあり比較的堅調に推移していたが、第2四半期後半(2020年3月中旬)以降はコロナの影響を受け失速した。その結果、売上高は24,173百万円(前期比9.4%減)となった。

(3) 汎用被覆線

主に電力用より細い電線で、住宅などに用いられる。電力用ケーブルほどではないが、やはり 2020 年 3 月以降コロナの影響が出て需要は低調だった。加えて銅価格の影響を受けやすいので、売上高は 6,906 百万円(前期比 9.2% 減)となった。

(4) その他電線

主に中小メーカー向けの銅裸線の販売であるため、販売価格はほぼ銅価格にスライドする。さらに末端での需要そのものも弱含みであったことから、売上高は 2,987 百万円(前期比 19.9% 減)となった。

(5) 非電線

電線以外の商品が含まれる。各種の加工品、付属品、周辺機器などで、主要製品はソーラー関連の部品及び加工品※とワイヤーハーネス関連だが、銅価格の影響は比較的小さく相対的に利益率の高い部門である。しかし米中貿易摩擦やコロナの影響でワイヤーハーネス等の需要が低迷し、売上高は11,140百万円(前期比13.1%減)となった。

**ソーラー関連は、ケーブルだけの場合は「電力用ケーブル」に、コネクター及び加工品が付いた場合は「非電線」に 区分けされている。

(6) 子会社の状況

会社は「近年は連結決算において子会社の貢献度が大きくなってきている」と述べているが、2020 年 10 月期における単体(親会社)ベースの営業利益は 2,729 百万円であり、連結決算(3,124 百万円)に占める割合は 87.4%(前期 91.9%)であった。数字的にも子会社の貢献度が上がってきていると言える。特にエヌビーエス(株)、太洋通信工業(株)が好調であった。今後は子会社群の動向も注視する必要がありそうだ。



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

■今後の見通し

2021 年 10 月期は上期減益予想だが、下期に需要の回復を期待。 通期で 5.6% の営業増益を見込む

1. 2021 年 10 月期の連結業績見通し

2021 年 10 月期通期の連結業績は、売上高で前期比 10.5% 増の 82,100 百万円、営業利益で同 5.6% 増の 3,300 百万円、経常利益で同 5.0% 増の 3,550 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で同 2.1% 増の 2,400 百万円と予想されている。期中の平均銅価格は 720 千円 / トン(前期比 5.9% 増)を予想している。通期では増益予想だが、前期の第 1 四半期(2019 年 11 月 - 2020 年 1 月)はコロナの影響が少なかったのに対して、2021年 10 月期の第 1 四半期はまだコロナの影響が残ると予想されることから、上期は営業減益が見込まれている。コロナの影響も含めて厳しい環境が続く予想だが、下期には半導体製造装置向けに加えて中国での工作機械向けや自動車向け、建設関連などの需要が回復すると見ており、通期ではこの目標を達成する計画だ。

設備投資額は1,300 百万円、減価償却費は594 百万円が見込まれている。具体的には、名古屋支店物流センター 用地取得(1,000 百万円)、福岡(沖縄) 倉庫機械等の設備(30 百万円) などが計画されている。太洋通信の工 場機械設備については、2020 年10 月期に一部(55 百万円)を完了し、残りを2021 年10 月期に実施する予 定となっている。

2021年10月期の連結業績見通し

(単位:百万円、%)

| | 20/10 期 | | 21/10 期予想 | | | |
|---------------------|---------|-------|-----------|-------|-------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 74,288 | 100.0 | 82,100 | 100.0 | 7,812 | 10.5 |
| 営業利益 | 3,124 | 4.2 | 3,300 | 4.0 | 176 | 5.6 |
| 経常利益 | 3,382 | 4.6 | 3,550 | 4.3 | 168 | 5.0 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,351 | 3.2 | 2,400 | 2.9 | 49 | 2.1 |

出所:決算短信よりフィスコ作成

銅価格は上昇、全商品で増収予想

2. 商品別の売上高見通し(単体ベース)

同社では商品別の売上高(単体ベース)を以下のように予想している。

http://www.fisco.co.jp

泉州電業

2021年1月8日(金)

9824 東証 1 部 https://wv

https://www.senden.co.jp/financer/press/

今後の見通し

2021年10月期通期の商品別売上高見通し(単体ベース)

(単位:百万円、%)

| | 20/10 期 | | | 21/10 期予想 | | | |
|-----------|---------|-------|--------|-----------|-------|------|--|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | |
| 機器用・通信用電線 | 24,299 | 35.0 | 26,800 | 35.4 | 2,501 | 10.3 | |
| 電力用ケーブル | 24,173 | 34.8 | 26,300 | 34.7 | 2,127 | 8.8 | |
| 汎用被覆線 | 6,906 | 9.9 | 7,500 | 9.9 | 594 | 8.6 | |
| その他電線 | 2,987 | 4.3 | 3,100 | 4.1 | 113 | 3.8 | |
| 非電線 | 11,140 | 16.0 | 12,100 | 15.9 | 960 | 8.6 | |
| 合計 | 69,507 | 100.0 | 75,800 | 100.0 | 6,293 | 9.1 | |

出所:決算参考資料よりフィスコ作成

(1)機器用・通信用電線

売上高は前期比 10.3% 増の 26,800 百万円と予想されている。コロナの影響もあり設備投資需要全般は不透明だが、半導体製造装置関連や中国での自動車関連に動きが出てきていることから、増収を見込んでいる。

(2) 電力用ケーブル

売上高は前期比 8.8% 増の 26,300 百万円が予想されている。コロナの影響により一時的に停滞していた工事にも動きが出始めていることから、増収を予想している。

(3) 汎用被覆線

売上高は前期比 8.6% 増の 7,500 百万円が見込まれている。電力用ケーブルとほぼ同様で、コロナの影響で遅れていた住宅向けや中小ビル向けの工事も戻ると予想されることから、増収を予想している。

(4) その他電線

銅価格が上昇する見込みであることに加え、主な需要先の中小ケーブルメーカーの動きも復活してくると思われ、売上高は前期比 3.8% 増の 3,100 百万円と予想されている。

(5) 非電線

コロナの影響もあり上期はまだ低迷が予想されるが、下期には加工品及びソーラー関連への需要が回復すると 予想されることから、売上高は前期比 8.6% 増の 12,100 百万円を見込んでいる。



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

■中長期の成長戦略

2024 年 10 月期に売上高 1,000 億円、経常利益 50 億円、 ROE8.0% 以上を目指す

1. 中期経営計画:目標年度を 2024 年 10 月期へ変更

同社は 2019 年 11 月に設立 70 周年を迎えたが、ここを 1 つの通過点として、2017 年 10 月期より 2021 年 10 月期を最終年度とする中期経営計画(5 ヶ年)を推進してきた。この中期経営計画の数値目標として、売上高で 1,000 億円、経常利益で 50 億円、ROE で 6.0% 以上を掲げていたが、コロナの影響で足元の業績や業界環境が大きく変わってきていることから、ROE の目標値を 8.0% 以上へ引き上げるとともに、目標年度を 2024年 10 月期に変更した。ただし、今後のコロナの収束状況や業界環境によって、これらの目標時期や数値を再度見直す可能性はある。現時点においては、以下のような重要施策を粛々と進めていく予定だ。

2. 中期経営計画:「SS2024」達成に向けての重要施策

この目標を達成するために、主に以下の重要施策を実行していく方針である。

- (1) 売上高 1,000 億円、経常利益 50 億円、ROE で 8.0% 以上の達成。
- (2) オリジナル商品の開発と加工部門の強化により直需部門の売上アップ。
- (3) ジャスト・イン・タイム体制の充実。
- (4) 関東・東京地区での営業強化。また、その他地区においてもシェア拡大を図る。
- (5) 自社ブランドを含む非電線商品の開発・拡販及び新分野の開拓を積極的に進める。
- (6) 海外での収益拡大のため海外連結子会社との連携を進め、グローバル展開の強化を図る。(米国での拠点を検討)
- (7) 社会環境の解決を起点とした新たなビジネスの創出、ESG 経営及び SDGs を含めたサステナビリティへの貢献を通じて企業価値を向上。
- (8) 泉州改革プロジェクト(仕入、物流、人事、新商品、コスト削減)の推進。

3. 中期経営計画:設備投資計画と専用サイトの立ち上げ

この目標を達成するための設備投資としては、2021 年 10 月期 1,300 百万円、2022 年 3 月期 397 百万円、2023 年 10 月期 2,884 百万円が見込まれている。主な投資案件は、名古屋物流センターの土地、沖縄出店、米国進出(デトロイト近辺)、Web サイトの強化など。特に Web サイトの強化では、ここ数年間で以下のような専用サイトを立ち上げた。



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

中長期の成長戦略

(1)「アビルヒーター」

新分野であるアグリ事業において、「農業ハウス用地中加熱ビニール線"アビルヒーター"」専用サイトを2019年にオープン。長久手ビニールハウスでの試験結果やアグリ製品を紹介し、新分野での商品拡販を進めている。この"アビルヒーター"は、一種の電熱線であり、これを地中に埋めることで土中を加温し、農作物の生育をサポートするもので、温度を一気に約40℃まで上げることができる。そのため、コストはビニールハウスの約半分と推定され、今後の拡販が期待出来る。某大手メーカーとの協同開発品で、同社が独占販売権を有している。現在はサンプル出荷だが、2021年10月期から本格出荷が始まる予定。

(2)「アットスカイ@ sky」

自社ブランドを含む「アットスカイ@ sky」を 2009 年に立ち上げ、カタログを発刊してきたが、2018 年に "アットスカイカタログサイト"をオープンし、Web サイトでの通販も強化している。

(3) 「泉州電業 FA サイト」

電線等の取扱商品情報を掲載した「泉州電業 FA サイト」を 2016 年にオープン。各種電線等の詳細情報を掲載し、顧客ニーズ対応や新規開拓に活用している。

4. ESG と SDGs への取り組み

同社では、ESG と SDGs への様々な取組状況について発信している。こうしたなかで、重要課題(マテリアリティ) として、1) 商品供給とサービスの提供、2) 環境保全活動、3) 人材創出とその環境づくり、4) 地域社会とのコミュニケーションの充実の 4 点を挙げている。

1) 商品供給とサービスの提供

法令順守及び公正取引を行いつつ、商品の安全・品質を確保している。技術革新への貢献、イノベーションの推進も図るとしている。また、事業継続計画(BCP)についても取り組んでいく。具体的には、CG 体制を構築し、コンプライアンス委員会やリスク管理委員会を立ち上げているほか、ISO9001 の認証取得を行っている。

2) 環境保全活動

気候変動への対応や循環社会の構築に向けて、環境保全を目指していく。具体的には、地球温暖化防止の取り組みを進めるほか、資源の有効活用や周辺清掃活動を推進する。環境調和型製品の売上促進に加えて、環境配慮型文具の購入率も向上させている(ISO14001の運用)。

3) 人材創出とその環境づくり

ダイバーシティを推進しながら人材育成を図っており、具体的には、次世代育成支援や障がい者雇用支援、女性の活躍促進に取り組んでいる。また、外国人技能実習生の受け入れを行っているほか、各種研修や資格取得を推奨している。安全衛生の維持にも努めている。

4) 地域社会とのコミュニケーションの充実

社会貢献活動に注力しており、災害支援や職場学習体験を行っている。また、地域交通安全活動や献血、エコキャップ、W リボン自動販売機の設置、植樹(大阪府吹田市)などにも取り組んでいる。

http://www.fisco.co.jp

泉州電業

2021年1月8日(金)

9824 東証 1 部

https://www.senden.co.jp/financer/press/

中長期の成長戦略

ESG と SDGs への取り組み

| 重要課題(マテリアリティ) | | 主な取り組み | SDGs目標 |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| ◎商品供給と サービスの提供 | *法令順守、公正取引 *商品の安全・品質確保 *技術革新への貢献 * /イノベーションの推進 *BCP | CG体制、コンプライアンス委員会 ISO9001 リスク管理委員会 | 8 ::::: 9 ::::::::::::::::::::::::::::: |
| ◎環境保全活動 | *気候変動への対応 *循環社会の構築 *環境保全 | 地球温暖化防止の取り組み 資源の有効活用 周辺清掃活動の推進 環境調和型製品の売上促進 環境配慮型文具の購入率アップ (ISO14001、PLC) | 7 |
| ◎人材創出と その環境づくり | *ダイバーシティ *人材育成 | 次世代育成支援、障がい者雇用支援、 女性活躍推進、 外国人技術実習生の受け入れ 各種研修、資格取得推奨 安全衛生 | 3 minute |
| ◎地域社会との コミュニケーション の充実 | *社会貢献活動 | 災害支援、職場学習体験、 地域交通安全活動、献血、 エコキャップ、Wリボン自販機設置、 植樹(吹田市)他 | 11 17 |

出所:決算説明資料より掲載

5. 同社設立記念日の 11 月 18 日が「電線の日」に制定

同社の業績とは直接関係ないが、(一社)日本電線工業会は11月18日を「電線の日」に制定した。なぜ11月18日かについて日本電線工業会では「現代社会を支えるすべての電線を表す(111)と、様々な電線があらゆるものに無限(∞)につながっていることを表している」と説明している。ここで興味深いのは、同社の設立記念日もまた11月18日である点。これは単なる偶然ではあるが、同社の事業もまた無限大(∞)に発展する可能性を示唆しているのかもしれない。

■株主還元策

2021 年 10 月期は年間配当 80 円の予定だが、自社株買いと合わせた総還元性向は 51.5% の見込み

同社は株主還元策として配当金及び株主優待制度、自社株買いなどで対応していく方針である。配当金に関しては「安定的な配当を維持することを基本方針として、当期の業績、内部留保の水準等を考慮し、総合的に判断する」としている。2010 年 10 月期以降の配当性向は 25% 前後の水準となっているが、「今後は 30% も意識」と述べており、増配にも前向きである。



2021年1月8日(金)

https://www.senden.co.jp/financer/press/

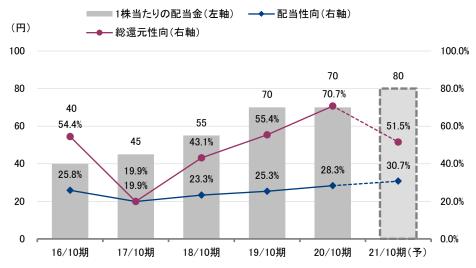
株主還元策

実際の配当については、年間配当を 2016 年 10 月期の 40 円から、2017 年 10 月期には 45 円、2018 年 10 月期には 55 円と増配を続け、さらに 2019 年 10 月期は創立 70 周年の記念配当 10 円を含めて年間 70 円の配当、2020 年 10 月期には普通配当で年間 70 円を行った。さらに進行中の 2021 年 10 月期は普通配当で年間 80 円を発表している。

また単位株(100 株)を保有する株主に対しては、以前はオリジナル QUO カード(1,000 円分)を贈呈していたが、現在は 1 年未満保有株主にはオリジナル QUO カード 1,000 円分を、1 年以上保有株主には同 2,000 円分を贈呈しており、小口株主に対しても積極的に株主還元を行っている。

さらに同社はもう 1 つの株主還元策として、自社株買いにも前向きである。2016 年 10 月期に 271,700 株、2018 年 10 月期に 150,000 株、2019 年 10 月期に 300,000 株、2020 年 10 月期には 315,700 株(999 百万円)の自社株買いを実行したが、2021 年 10 月期も上期に最大 170,000 株(上限 500 百万円)行うことを発表済みだ。この結果、予定どおり自社株買いが実行されれば、配当金と合わせた 2021 年 10 月期の総還元性向は 51.5% に達する見込みだ。

1株当たりの配当金・配当性向及び総還元性向の推移



出所:決算説明資料よりフィスコ作成

このように、事業拡大と合わせて資本効率の向上に対する同社の姿勢は大いに評価できるだろう。



重要事項 (ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・ 大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動 内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場 合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポート および本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において 使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理 由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒 107-0062 東京都港区南青山 5-11-9

株式会社フィスコ

電話: 03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp